

南信州地域交通問題協議会の取り組みについて

南信州広域連合 事務局 広域振興係
(南信州地域交通問題協議会 事務局)

1 はじめに

南信州広域連合は、飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村の1市3町10村から構成されている特別地方公共団体です。これらの地域は近年「南信州」と呼ばれ、四季折々の自然、産業、伝統野菜、芸能文化などを活かした暮らしが営まれています。

南信州地域（以下「当地域」という）は、大阪府や香川県よりも広大な面積を有し、南アルプスと中央アルプスに囲まれた盆地のほぼ中央を一級河川天竜川が貫流しています。また、その面積の約86%を森林が占め、天竜川沿いには河岸段丘が見られ、起伏に富んだ地形が形成されています。このような地域的特徴を持つ当地域では、生活の移動手段は専ら自家用車に依存しており、それに伴って公共交通の弱体化が顕著になり、加えて道路運送法の改定により当地域においても、民間事業者の路線バス撤退表明がありました。

こうした中で、高校生や高齢者の移動手段を確保するため、平成20年3月に行政機関及び関係機関で構成する「南信州地域交通問題協議会」を設立し、南信州地域が一体となった公共交通システムの構築を図っています。

2 南信州公共交通システム

南信州公共交通システムとは、既存の公共交通の効率化や利便性向上、住民への公共交通に対する啓発と利用促進を図るための仕組みや事業群を示し、主に以下の3つの柱で構成されています。

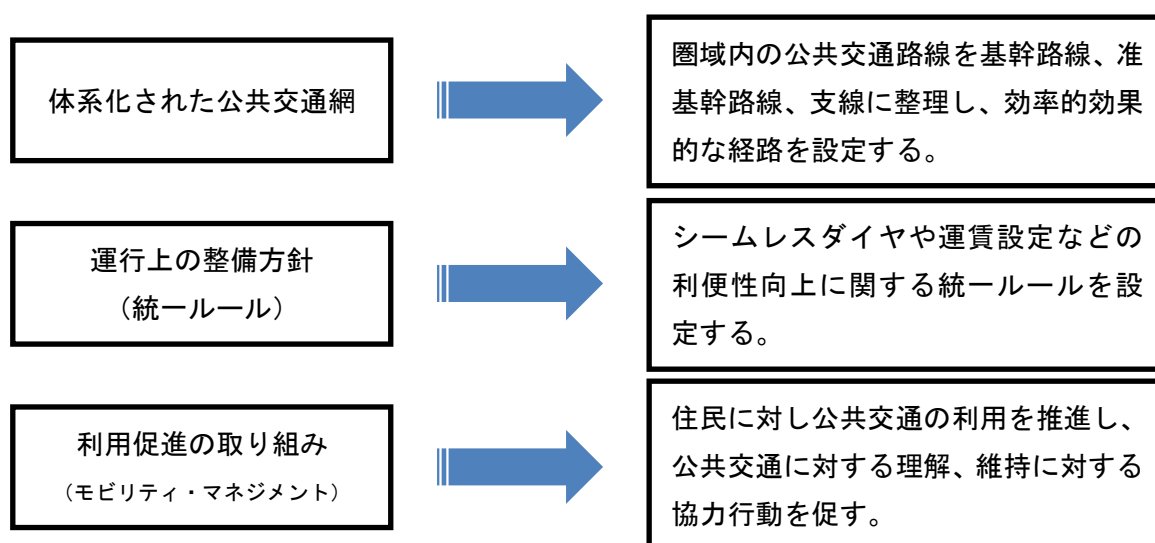


図 南信州公共交通システム

3 構成委員

「南信州地域交通問題協議会」は、地域住民の代表や公共交通事業者、環境・福祉分野の関係者、国・県・市町村などの関係機関により構成されています。

表 南信州地域交通問題協議会構成委員（1／2）

区 分	所属団体等	委員名
		役 職
公共交通利用者 (住民代表)	飯田市地域公共交通改善市民会議	会長
	飯田市地域公共交通改善市民会議	副会長
	高森町	上市田区長
	阿南町老人クラブ連合会	会長
	阿智村	智里東自治協議会長
	根羽村	住民代表
	下條村	下條中学校PTA会長
	豊丘村	堀越区長
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	会長
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会長
学校関係者	下伊那地区高等学校長会 (会長：長野県阿智高等学校長)	校長
商工関係者	飯田商工会議所	会頭
	長野県商工会連合会南信州支部広域協議会	チームリーダー
公共交通 事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	駅長・支店長
	信南交通(株)	社長
	伊那バス(株)	社長
	長野県タクシー協会下伊那支部	支部長
	大新東(株)松本営業所	所長
公安委員会	飯田警察署	署長
	阿南警察署	署長
学識経験者等	広域連合議会	議員
	広域連合議会	議員
	名古屋大学大学院	環境学研究科 都市環境学専攻 准教授
道路管理者	国土交通省飯田国道事務所	所長
	長野県飯田建設事務所	所長

表 南信州地域交通問題協議会構成委員（2／2）

区 分	所属団体等	委員名
		役 職
行 政	下伊那地方事務所	所長
	飯田市	市長
	松川町	町長
	高森町	町長
	阿南町	町長
	阿智村	村長
	平谷村	村長
	根羽村	村長
	下條村	村長
	売木村	村長
	天龍村	村長
	泰阜村	村長
	喬木村	村長
	豊丘村	村長
	大鹿村	村長
南信州広域連合	広域連合長	
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官
	県企画部交通政策課	課長

4 公共交通に関する計画

南信州地域交通問題協議会では、「南信州公共交通システムの構築」を基本方針とした「南信州地域公共交通総合連携計画」を策定し、各種事業を実施しています。

(1) 南信州地域公共交通総合連携計画（平成26年4月～平成31年3月）

飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

表 基本方針を推進するための目標と事業

目標	事業の概要
目標1：南信州公共交通システムのブランド化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の公共交通体系である「南信州公共交通システム」を広く周知し、自家用車主体の生活様式から、公共交通を交通手段のひとつの選択肢と意識付けするための利用促進・転換事業の推進。 ・広報誌の発行やシステムの名前の公募（ブランディング）、バス停留所の統一化、デザインの募集、路線別カラー・番号の表示など。
目標2：交通不便者に対応した公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる当地域の公共交通情報の発信や、利用者に分かりやすい路線図、時刻表を作成することで、公共交通の利便性向上につなげる。
目標3：基幹路線に対する準基幹路線及び支線の効率的・効果的な接続	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通をより利用しやすいものとするため、当地域における既存公共交通との連携や改善を図る。
目標4：利用者の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な利用促進、利用転換事業を実施していくことにより、利用者拡大を図る。 ・エコ通勤、ノーマイカーデーの推進。 ・統一されたデザインの案内標識や路線図の整備を行い、円滑な乗り継ぎや乗り換えを効率的に確保するための検討を行う。
目標5：リニア中央新幹線開業を見据えた新たな公共交通網の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅と既存公共交通との効果的な接続及び既存交通の新たな活用方法等の研究、周辺圏域も含めたより広域的な交通ネットワークづくりのための情報収集。

(2) 関連事業

ア 地域公共交通確保維持改善事業

イ 地域協働推進事業（平成25年12月～平成31年3月）

※H26 活性化再生法の改正により地域協働推進事業は廃止。

5 役割分担

各地域公共交通協議会（各市町村）では路線の運行を行い、自治会、学校、商工会議所、交通事業者は路線運行に関する意見や利用促進に関する活動を行います。また、南信州地域交通問題協議会では、公共交通に関する計画の策定や路線の接続調整、全体の利用促進・利用転換事業、利便性向上事業を担っています。

表 主体ごとの取り組み内容

主体	役割内容
南信州地域交通問題協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○南信州総合連携計画の策定・進行管理 ○圏域全体のコーディネート ○圏域全体を対象とした利用促進・利用転換事業の展開 など
市町村地域公共交通協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○第2次南信州総合連携計画に基づく基幹・准基幹・支線の運行及び協議 ○南信州地域交通問題協議会との相互連携 ○リニア中央新幹線開業を見据えた新たな公共交通網の基盤づくり など
飯田市（定住自立圏の中心市）	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域全体の公共交通ネットワーク構築の先導的推進と効果的かつ効率的な運行に向けた調整 ○南信州地域交通問題協議会との相互連携 ○リニア中央新幹線開業を見据えた新たな公共交通網の基盤づくりの先導的役割 など
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○安心安全な運行 ○第2次南信州総合連携計画に基づく基幹・准基幹・支線の運行に対する助言 ○ダイヤ改正に伴うシームレスダイヤの具体的設定 など
住民〔自治会・学校・商工会議所など〕	<ul style="list-style-type: none"> ○運行路線に対する意見の集約 ○利用促進・利用転換に関する協働活動 ○南信州地域交通問題協議会及び市町村交通公共協議会、市町村への協力 など

6 運行事業主体及び運行路線

当地域では、飯田市を中心とした公共交通ネットワークが形成されています。
前述の通り、各地域公共交通協議会（各市町村）が事業主体となり、路線の運行を担当しています。

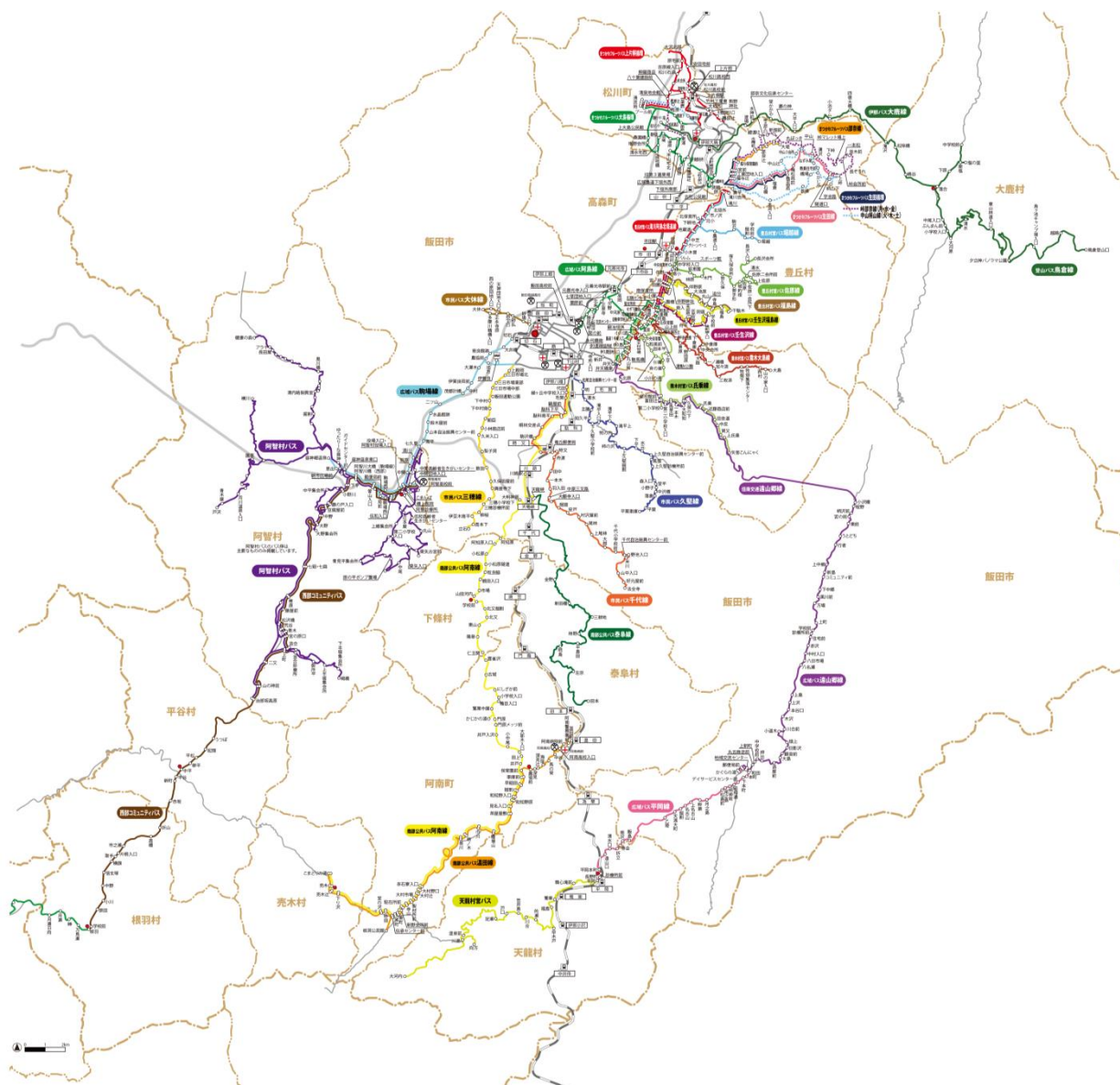


図 南信州広域（飯田市周辺）バス路線（2015年4月1日現在）

表 運行事業主体及び運行路線

地域公共交通会議名	市町村名	運行路線名
飯田市地域公共交通改善市民会議	飯田市	広域バス阿島線
		広域バス駒場線
		広域バス遠山郷線
		広域バス平岡線
		市民バス循環線
		市民バス大休線
		市民バス千代線
		市民バス久堅線
		市民バス三穂線
松川町地域公共交通対策協議会	松川町	上片桐循環線
		大島循環線
		生田循環線
		生田線
		部奈線
下伊那南部地域公共交通対策協議会	阿南町、下條村、売木村、天龍村、泰阜村	阿南線
		温田線
		泰阜線
阿智村地域公共交通協議会	阿智村	伍和・智里東線
		春日・智里西線
		清内路線
		浪合線
西部コミュニティバスを守り育てる会	根羽村、平谷村	西部コミュニティバス
天龍村地域公共交通会議	天龍村	神原線
喬木村地域公共交通会議	喬木村	氏乗線
		喬木大島線
豊丘村地域公共交通会議	豊丘村	堀越線
		佐原線
		壬生沢線
		福島線
		壬生沢福島線
		滝川阿島北線
大鹿村地域公共交通会議	大鹿村	大鹿線

7 南信州地域交通問題協議会の利用促進・利用転換事業の取り組み

(1) 中学生を対象としたバスワークショップの開催

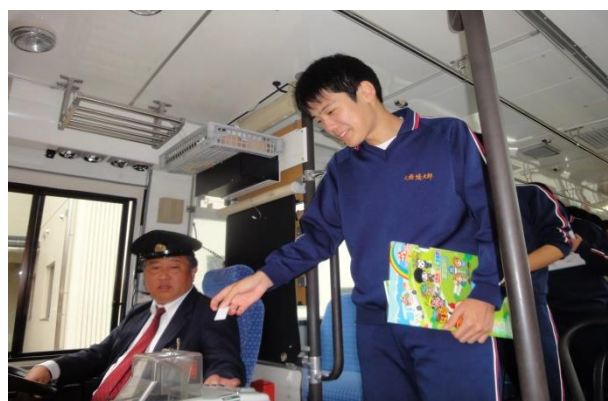
ア 高校に進学する際の公共交通の利用促進を図るために、バスを利用したことがない方や利用の方法がわからない方にバスの乗り方をわかりやすく説明しています。

イ 普段利用している自家用車の排出ガスによる地球温暖化について学び、バス等の公共交通を利用する意識づくりの啓発活動をしています。

◇ワークショップ実施中学校：根羽中学校（西部地区）、天龍中学校（南部地区）、豊丘中学校（北部地区）、大鹿村中学校（北部地区）



豊丘中学校でのワークショップの様子



バス車両内での様子（降車の仕方を学習）



大鹿中学校でのワークショップの様子



根羽中学校でのワークショップの様子

(2) 高齢者を対象としたバスのワークショップの開催

バスを利用したことがない方や利用の方法がわからない方にバスの乗り方をわかりやすく説明しています。

◇ワークショップ開催地域：阿智村（西部地域）、天龍村（南部地域）、喬木村（北部地域）



高齢者に対するワークショップの様子（阿智村）



高齢者に対するワークショップの様子（喬木村）

(3) 高校入学説明会における公共交通利用案内

圏域8高校の新入生（H27年度約1,730人）に対し、通学の際に利用できる公共交通の情報と割引情報（定期、回数券）を周知し、公共交通の利用促進を図っています。

(4) 方面別乗継時刻表の作成

当地域は一体的な生活圏を形成しており、通学・通院のための移動の多くは、周辺地域から中心部への移動が多くみられます。各市町村が運行するバスは、主にJR飯田線との接続を考慮しており、バスとバスとの接続に関する認知度はさほど高くありません。そこで乗り継ぎのパターンを時刻表で表し、公共交通を利用し圏域内の大半のエリアから中心部への移動が可能であることを示すことで、これまで乗り継ぎがわからず自家用車などで移動していた住民を、公共交通へ利用転換を促進し、地域内の公共交通がシステムとして一体的なものであることをPRしています。

◇北部方面乗継時刻表

13,410部

◇南部方面乗継時刻表

4,670部

◇西部方面乗継時刻表

3,070部

春日方面から飯田方面へ バス⇒バス				飯田方面から春日方面へ バス⇒バス			
乗継停留所	バス名	こまんば 阿智村巡回バス		乗継停留所	バス名	こまんば 広域バス（経幹路線）	
路線名	W4 春日・智里西方面			路線名	W0 駒場線		
項目	停留所名	平日午前便	土曜午前便	項目	停留所名	平日午前便	平日午後便
	中興駅前生活センター	9:25	9:25		阿智高校	8:15	15:40
	宮崎宅横	9:26	9:26		飯田駅前	8:15	11:25 15:40
	中興団地入口	9:28	9:28		阿智高校前	8:47	
	阿智高校	9:29	9:29	乗継停留所	こまんば(下中継)	8:51	11:51 16:06
	稲葉屋	9:31	9:31	乗継時間		32分	24分 10分 49分 50分 30分
	ホクシン前	9:33	9:33	乗継バス名	阿智村巡回バス		
	七久里集会所	9:35	9:35	乗継路線名	W4 春日・智里西方面		
	青苗センター	9:39	9:39	項目	停留所名	平日午前便	平日午後便
乗継停留所	こまんば(下中継)	9:41	9:41		こまんば(下中継)	9:23	12:15 16:16
乗継時間		9分	22分		中興駅前生活センター	9:25	12:17 16:18
バス名	広域バス（経幹路線）				宮崎宅横	9:26	12:18 16:19
乗継路線名	W0 駒場線				中興団地入口	9:28	12:20 16:21
乗継経由地	市立病院				阿智高校	9:29	12:21 16:22
項目	停留所名	平日午前便	土曜午前便		稲葉屋	9:31	12:23 16:24
乗継停留所	こまんば(春木曜)	9:50	10:03		ホクシン前	9:33	12:25 16:26
	市立病院	10:19			七久里集会所	9:35	12:27 16:28
	飯田駅前	10:35	10:30		青苗センター	9:39	12:31 16:32
※阿智村巡回バスは日曜・祝祭日は運休となります。							
春日方面⇔飯田方面				春日・智里西方面巡回バス			
春日・智里西方面巡回バス				春日・智里西方面巡回バス			

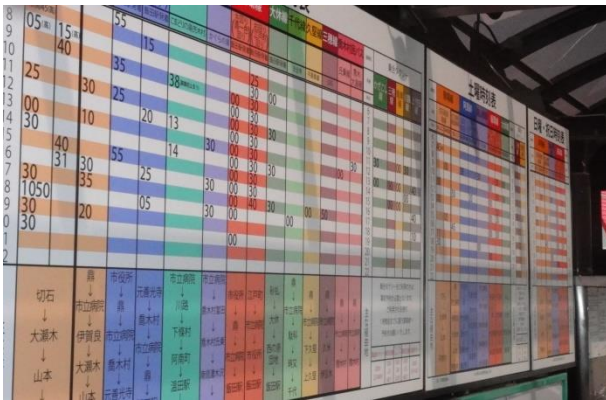
西部方面乗継時刻表（一部）

(5) バス結節点停留所整備

複数の路線バスが結節するバスの停留所に総合案内板等を整備し、円滑な乗り継ぎ情報を提供し利用者の利便性及び利用促進を図っています。

〔当地域の結節点停留所〕

- ア 飯田駅前停留所（中心地：飯田市）
- イ 飯田市立病院停留所（中心地及び南部地域：飯田市）
- ウ 交流センター停留所（北部地域：喬木村）
- エ こまんば停留所（西部地域：阿智村）



時刻表（飯田駅前停留所）



路線図（飯田駅前停留所）



総合案内板（こまんば停留所）下中屋側



総合案内板（こまんば停留所）春木屋側



総合案内板（交流センター停留所）

(6) エコ通勤

- ア 通勤の移動手段として公共交通の利用を促進するため、通勤手段や時間帯に関するアンケート調査を行いました。
- イ 企業へエコ通勤に関する啓発チラシを配布しています。
- ウ 環境団体と連携し、ノーマイカー週間を実施しています。

8 輸送実績

運行が安定しはじめた H22 年度と H26 年度を比較すると、路線バス、乗合タクシーの輸送者数は共に増加傾向にあります。輸送者数は特に高校生を主体として 6 万 3 千人程増加しています。

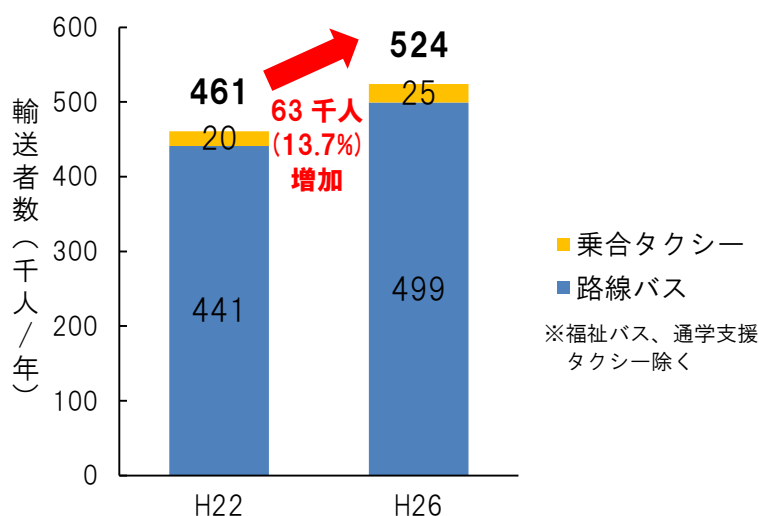


図 輸送実績

表 輸送実績 (1 / 3)

路線バス		(単位：人)			
路線体系	路線名	H26	H22	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
基幹	阿島線	22,322	15,389	6,933	145.1%
"	駒場線	205,375	168,869	36,506	121.6%
"	阿南線 (阿南～飯田) ※温田線含む	47,587	30,039	17,548	158.4%
准基幹	遠山郷線	18,176	10,901	7,275	166.7%
"	平岡線	1,927	1,258	669	153.2%
"	市民バス循環線	86,377	84,872	1,505	101.8%
"	西部コミュニティバス	11,803	10,805	998	109.2%
"	大鹿線	8,418	8,849	▲ 431	95.1%

表 輸送実績（2／3）

路線体系	路線名	H26	H22	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
支線	市民バス大休線	4,062	5,134	▲ 1,072	79.1%
"	市民バス千代線	3,180	1,763	1,417	180.4%
"	市民バス久堅線	1,874	1,846	28	101.5%
"	市民バス三穂線	2,397	3,465	▲ 1,068	69.2%
"	上片桐循環線	10,030	7,773	2,257	129.0%
"	大島循環線	4,386	3,648	738	120.2%
"	生田循環線	6,226	9,225	▲ 2,999	67.5%
"	生田線	10,827	14,934	▲ 4,107	72.5%
"	部奈線	6,160	6,876	▲ 716	89.6%
"	泰阜線	867	448	419	193.5%
"	阿南町民バス	6,279	13,914	▲ 7,635	45.1%
"	伍和・智里東	7,214	8,252	▲ 1,038	87.4%
"	春日・智里西	5,920	6,175	▲ 255	95.9%
"	清内路	7,911	7,345	566	107.7%
"	浪合	2,101	1,746	355	120.3%
"	天龍村営バス	4,249	3,551	698	119.7%
支線	氏乗線	4,494	4,730	▲ 236	95.0%
"	喬木大島線	2,890	3,319	▲ 429	87.1%
"	堀越線	1,837	2,552	▲ 715	72.0%
"	佐原線	2,201	1,772	429	124.2%
"	壬生沢線	167	364	▲ 197	45.9%
"	福島線	296	92	204	321.7%
"	壬生沢福島線	519	812	▲ 293	63.9%
"	滝川阿島北線	1,050	548	502	191.6%
バス（福祉バス除く）		499,122	441,266	57,856	113.1%

表 輸送実績（3／3）

乗合タクシー

路線体系	路線名	H26	H22	比較	
		4月～3月	4月～3月	増減数	前年度比
准基幹	上市田線	2,550	2,612	▲ 62	97.6%
	平岡線	4,066	3,088	978	131.7%
支線	かざこし線	2,234	1,722	512	129.7%
〃	三穂線	3,405	1,833	1,572	185.8%
〃	川路線	1,560	1,012	548	154.2%
〃	竜東線	8,635	7,712	923	112.0%
〃	遠山郷線	545	433	112	125.9%
〃	上村線	203	214	▲ 11	94.9%
〃	下栗線	318	285	33	111.6%
〃	須沢線	136	340	▲ 204	40.0%
〃	上島線	38	157	▲ 119	24.2%
〃	八重河内線	1,312	300	1,012	437.3%
乗合タクシー（通学支援タクシー除く）		25,002	19,708	5,294	126.9%
合計		524,124	460,974	63,150	113.7%

9 今後の展開

当地域も少子高齢化により、公共交通の利用者の減少が予想されています。現在の利用促進・利用転換事業を継続し、新たに自家用車を運転できる高齢者を公共交通に転換を促進する活動や、公共交通を利用しない通勤者層に利用することを意識付けする活動を検討する必要があります。

また、H39年には当地域にリニア中央新幹線駅が開業します。他地域からの訪問者への利便性を確保し、公共交通ネットワークの構築を図り、誰にもやさしい公共交通を目指します。